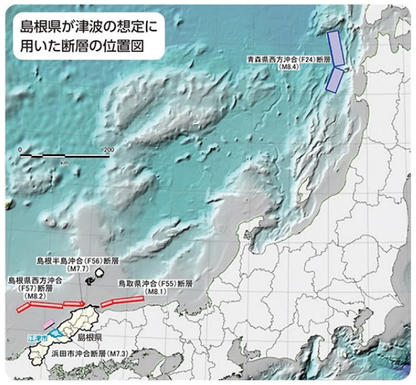
津波ハザードマップ

この津波ハザードマップは、島根県が公表した「津波浸水想定（平成29年3月）」及び「島根県地震・津波被害想定調査報告書（平成30年3月）」に基き、江津市に影響がある3つの海域地震を対象として「浸水域」と「浸水深」が最大となるよう重ね合わせた「津波浸水想定図」を示しています。

想定では最大クラスの津波が発生した場合としていますが、最大クラスの津波とは、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が想定される津波から設定したものであり、これより大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。



江津市に影響がある3つの海域地震

想定地震名	地震の規模（Mj）	津波到達代表地点	津波最高水位	最大波到着時間
青森県西方沖合（F24）断層の地震	8.4	向の浜海岸	2.18m	404分
島根県西方沖合（F57）断層の地震	8.2	向の浜海岸	4.33m	39分
浜田市沖合断層の地震	7.3	向の浜海岸	2.74m	10分

Mj：気象庁マグニチュード

津波について

津波の特徴

- 津波は膨大なエネルギーです。普通の波とは違い、津波は海底から海面までの海水全体が「巨大な水のかたまり」となって押し寄せてきます。50cmの津波でも立っていられなくなり、1mを超えると家屋に被害が出始めます。
- 津波は何度でも繰り返し襲ってきます。津波は、長い場合は1日以上にもわたって何度も繰り返し襲ってきます。また、第1波が最大とは限りません。
- 海辺以外でも注意が必要です。津波は陸地や川を遡上します。海辺以外の場所でも津波警報・注意報に注意しましょう。

用語の解説【浸水想定について】

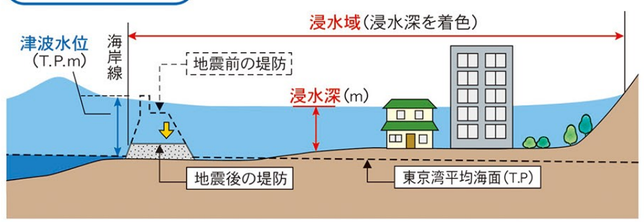
◆浸水域

海岸線から陸域に津波が遡上した外縁までの範囲

◆浸水深

陸上の各地点で水面が最も高い位置にきたときの地面から水面までの高さ

津波の浸水想定



■ 耐震性が確保されていない現状の堤防等は、想定震度4以上で「沈下」「破壊」
■ 津波が越流し始めた時点で「破壊」

津波注意報・警報・大津波警報の発表基準

津波予報の種別	予想される津波の高さ：数値での発表（発表基準）	予想される津波の高さ：巨大地震の場合の表現	とるべき行動	想定される被害
大津波警報	10m超（10m<高さ） 10m（5m<高さ≦10m） 5m（3m<高さ≦5m）	巨大	沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう。	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれる。
津波警報	3m（1m<高さ≦3m）	高い		標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生する。人は津波による流れに巻き込まれる。
津波注意報	1m（20cm<高さ≦1m）	表記しない	海の中にいる人は、ただちに海から上がって、海岸から離れてください。津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近付いたりしないでください。	海の中では人は速い流れに巻き込まれる。養殖いかだが流失し、小型船舶が転覆する。

地震の後しばらくは、気象庁が発表する情報に注意!

- 震源が陸地に近いと津波警報が津波の襲来に間に合わないことがあります。「揺れたら避難」を徹底しましょう。
- 津波は沿岸の地形などの影響により局所的に予想より高くなる場合があります。より高い場所を目指して避難しましょう。
- 地震発生後、予想される津波の高さが20cm未満で被害の心配がない場合、または津波注意報の解除後も海面変動が継続する場合には、「津波予報（若干の海面変動）」を発表します。

避難時に注意すること

海岸近くで地震を感じたら直ちに高い所へ避難!!

強い地震（震度4以上）や、長い時間の揺れを感じたら、直ちに海岸から離れ、急いで高台などの安全な場所へ避難しましょう。

津波は繰り返し襲ってきます!

第1波よりも第2波、第3波の方が高くなることがあります。荷物を取りに戻ったり、様子を見るために海岸へ近寄ってはいけません。

揺れが小さくても油断しない!

揺れが小さくても津波が来ないとは限りません。震源の位置や津波注意報など、正確な情報を収集しましょう。

地図の説明

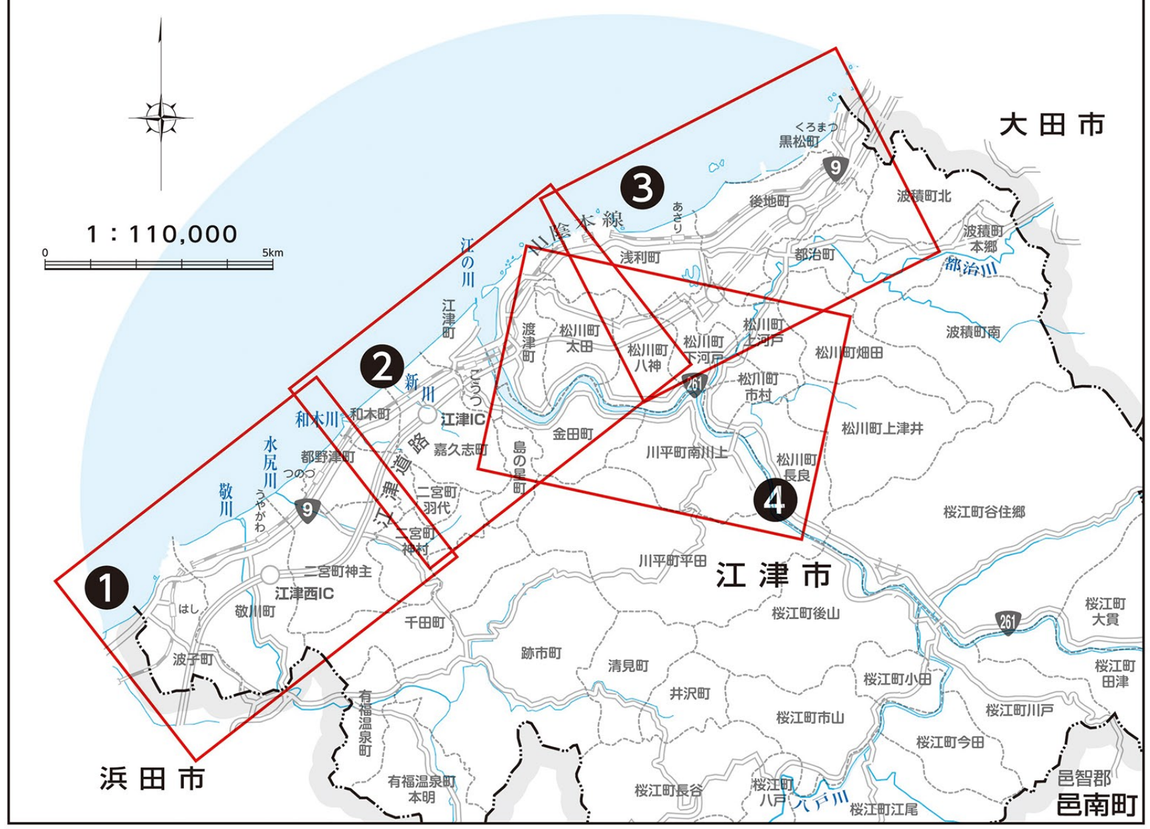
◆避難高台 ―― 津波警報が発表された際にいち早く難を逃れるため、一時的に避難できそうな建物や高台を例示しています。耐震化されていない建物や単なる広場も含まれています。
※（　）内は、その施設や高台の地盤標高（海抜）です。

◆津波避難ビル ―― 周辺に高台が無い平野部の一時避難場所として「津波避難ビル」を表示しています。
耐震基準を満たしている3階建以上の建物で、住居部分以外に避難スペース（屋上・通路等）がある施設を指定しています。

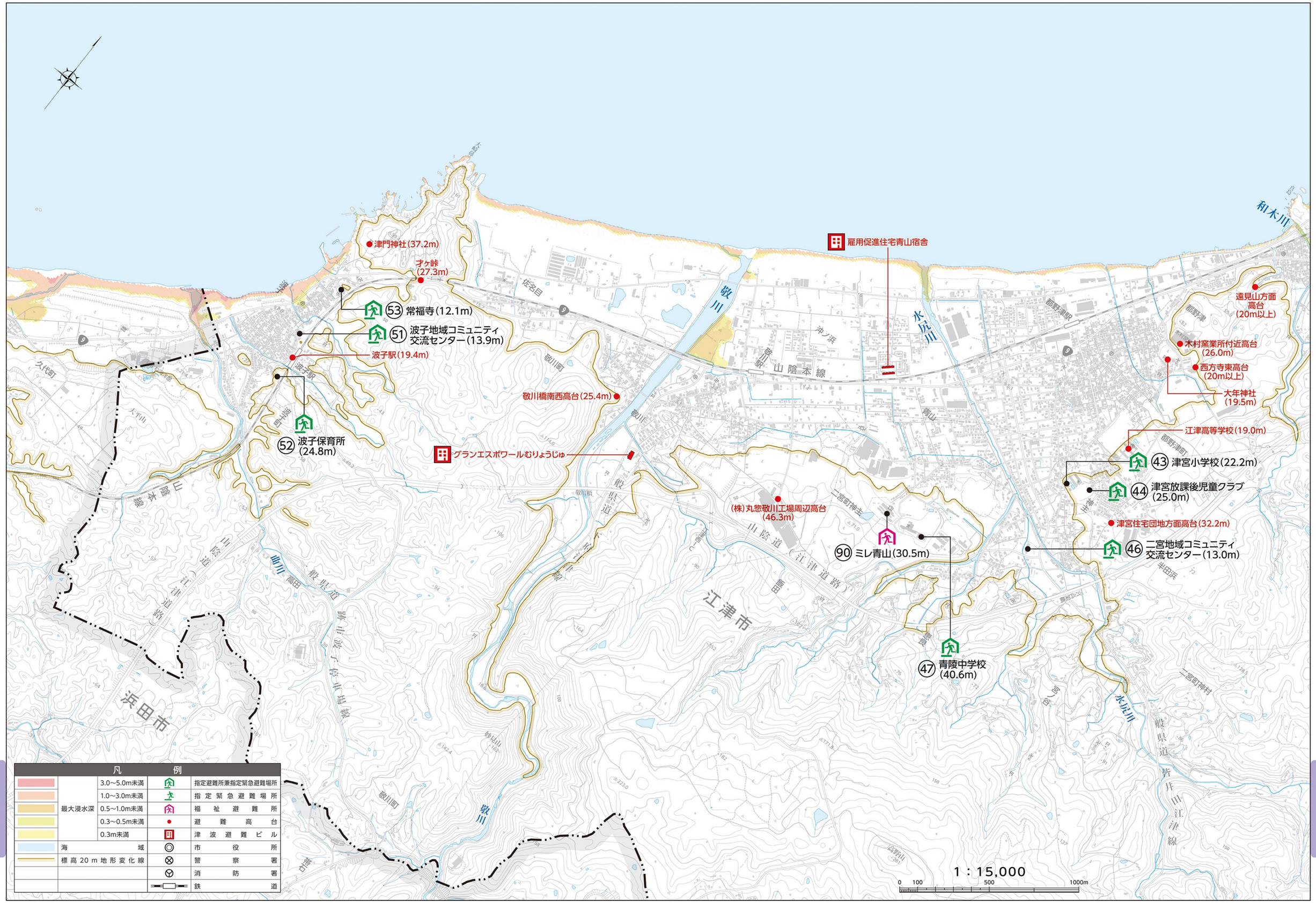
◆標高20m地形変化線 ―― 標高の目安として表示したものであり、20mより高い所の人は避難しなくてもよいというものではありません。

津波浸水想定区域	
	3.0～5.0m未満の浸水が予想される区域
	1.0～3.0m未満の浸水が予想される区域
	0.5～1.0m未満の浸水が予想される区域
	0.3～0.5m未満の浸水が予想される区域
	0.3m未満の浸水が予想される区域
標高20m地形変化線	
	20

津波ハザードマップ 索引図



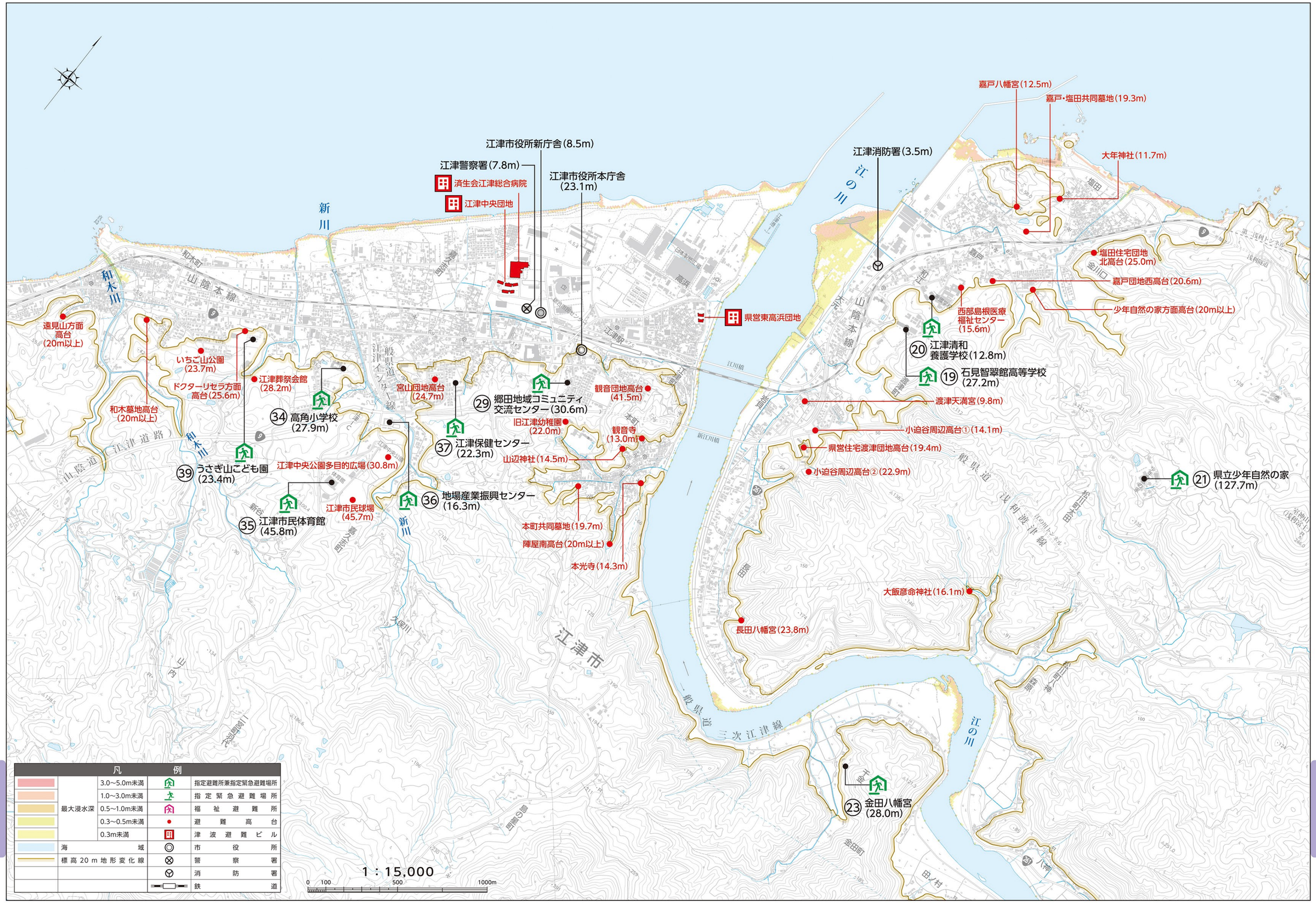
津波ハザードマップ❶



凡例				
	最大浸水深	3.0～5.0m未満		指定避難所兼指定緊急避難場所
		1.0～3.0m未満		指定緊急避難場所
		0.5～1.0m未満		福祉避難所
		0.3～0.5m未満		避難高台
		0.3m未満		津波避難ビル
	海域			市役所
	標高20m地形変化線			警察署
				消防署
				鉄道

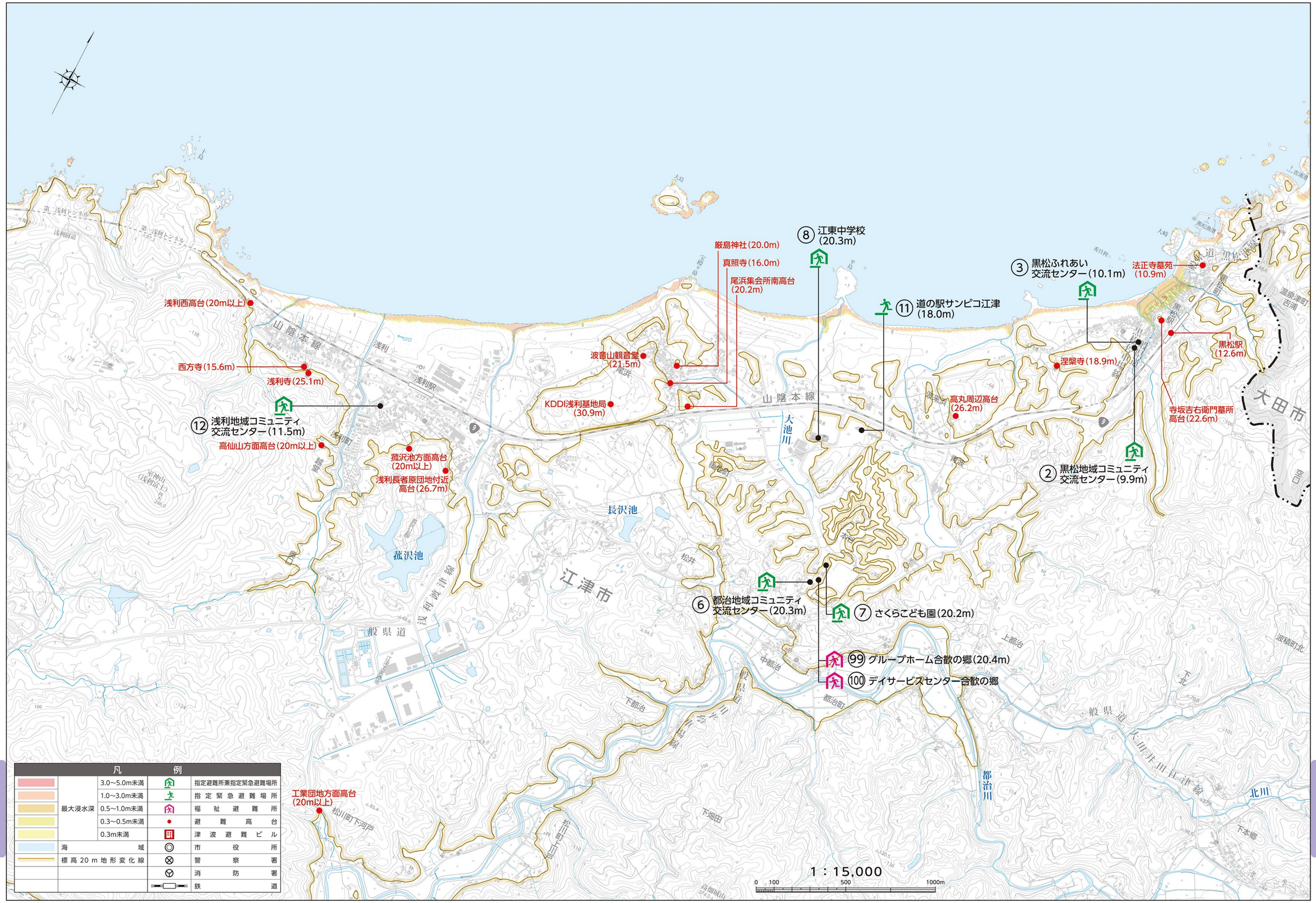
津波ハザードマップ

津波ハザードマップ❷



津波ハザードマップ

津波ハザードマップ❸



津波ハザードマップ

津波ハザードマップ❹

大年神社(11.7m)
塩田住宅団地北高台(25.0m)
嘉戸八幡宮(12.5m)
嘉戸・塩田共同墓地(19.3m)
少年自然の家方面高台(20m以上)
嘉戸団地西高台(20.6m)
西部島根医療福祉センター(15.6m)
⑳ 江津清和養護学校 (12.8m)
⑲ 石見智翠館高等学校 (27.2m)
㉑ 県立少年自然の家 (127.7m)
工業団地方面高台 (20m以上)
渡津天満宮(9.8m)
小迫谷周辺高台①(14.1m)
県営住宅渡津団地高台(19.4m)
小迫谷周辺高台②(22.9m)
大飯彦命神社(16.1m)
⑭ 松平地域 コミュニティ交流センター (17.5m)
㉓ 金田八幡宮 (28.0m)
長田八幡宮 (23.8m)
㉔ 金田大元神社(13.2m)
八重山神社 (35.5m)
陣屋南高台(20m以上)
蓮生寺(23.2m)

江津市
江の川
上津井川
平床川
田ノ原川
奥谷川
一般県道 三次江津線
一般県道 浅利渡津線
一般県道 川平停車場線
一般県道 豚吉川平停車場線

凡例			
最大浸水深	3.0～5.0m未満		指定避難所兼指定緊急避難場所
	1.0～3.0m未満		指定緊急避難場所
	0.5～1.0m未満		福祉避難所
	0.3～0.5m未満		避難高台
	0.3m未満		津波避難ビル
海域			市役所
標高20m地形変化線			警察署
			消防署
			鉄道

1：15,000
0 100 500 1000m

津波ハザードマップ